

【取組内容②】・授業当日の内容を見通し、主体的・対話的で深い学びへ導く工夫。

単元 第3章第1節第1項 方程式とその解(3)	メモ 家庭学習 個人配布用スライド	氏名 名前を記入する
めあて		
キーワード		
	まとめ	

図5

・家庭学習において、個人配布用スライドに教科書を通読しポイントと考えられる場面を「メモ」欄に記入、さらに「めあて」を考えておくよう指示する。（図5）例題の解説動画を視聴し問題を解いておくように指示する。（図6）教師はファシリテーターとして個別最適な学びを進めるにあたり、生徒一人一人の進度や理解の状況が確認できる。生徒はシートを使い、式の性質のどれを使えばよいか、なぜそう考えたのかをそれぞれの言葉で表現し共有する。協働的な学びの中で他者の考えを学ぶことができる。また、評価についても生徒が具体的に確認することができる。（図7）このことは、学習者を育てることになり、主体的・対話的で深い学びにつながっていく。

ス 未知のxを求める数学1年/第3章/1節/方程式とその解/例2/両辺に同じ数をたす

例2 両辺に同じ数をたす

$$x - 6 = -1$$

$$x - 6 \quad = \quad -1$$

$$\quad \quad \quad \downarrow$$

$$\quad \quad \quad =$$

式の性質

- ① 等式の両辺に同じ数をたしても、等式が成り立つ。
 $A=B$ ならば、 $A+C=B+C$
- ② 等式の両辺から同じ数をひいても、等式が成り立つ。
 $A=B$ ならば、 $A-C=B-C$
- ③ 等式の両辺に同じ数をかけても、等式が成り立つ。
 $A=B$ ならば、 $A \times C = B \times C$
- ④ 等式の両辺を同じ数でわっても、等式が成り立つ。
 $A=B$ ならば、 $A \div C = B \div C$

左辺を x だけに
するために
両辺に 6 をたす

$$x - 6 + 6$$

$$=$$

$$-1 + 6$$

図6

進捗状況3-1-1(3)1-6 ☆ ◎ ☰

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

100% Arial 10

C2	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	番号	名前	例2	問4(1)	問4(2)	問4(3)	例3	問5(1)	問5(2)	問5(3)	例4	問6(1)	問6(2)
2	1												
3	2												
4	3		ヘルプ										
5	4		考え中です										
6	5		できました										
7	6												
8	7												
9	8												
10	9												
11	10												
12	11												
13	12												
14	13												
15	14												
16	15												
17	16												
18	17												
19	18												

図7